

令和2年度 みどり「ひと・まち」スクール実施記録

第5講 夢プラン作成にむけて Part2

講師及び担当：竹迫講師、神田、田中

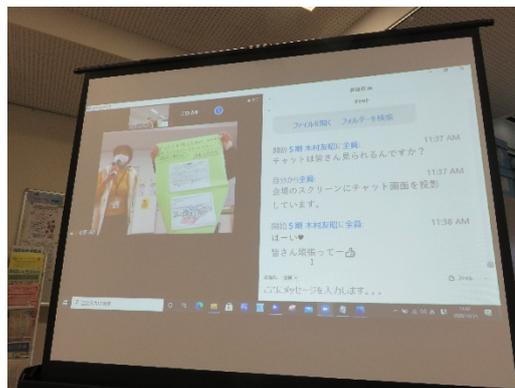
日 時：令和2年10月31日（土） 場所：緑区市民活動支援センター（みどりーむ）
参加者：6期生（5、Zoom 受講1）講師、コーディネーター、緑区社会福祉協議会、ナビゲーター（5）サブナビゲーター（3）事務局（3） 合計：19人
Zoom 参加：7人

●学習目標

1. それぞれの「夢プラン」作成にむけた作業と情報交換を行う。
2. 自分のやってみたいことを他者にわかりやすく伝える力、そのプランがどうしたらもっとよくなるのかアドバイスできる力を磨く。

●内容

1. オープニングタイム
 - ・本日の趣旨説明後、4 講欠席者より「やりたいこと」の発表を行った。
2. 夢プランにむけての情報交換&練り直し
 - ・受講生、ナビゲーター等のグループ内で、夢プランを紹介&相談し、意見や感想をもらい、夢プランを練り直した。
 - ・模造紙に夢プランを貼り付け、「ビジョン」「対象」「名前」記入。
3. 夢プラン展覧会&お知恵拝借タイム
 - ・受講生が全体の前で模造紙を見せながら発表した。
 - ・発表終了後、模造紙をテーブルに広げ、受講生やナビゲーター等が周りながらアドバイスや感想を付箋に書き、模造紙に貼っていった。
4. クロージングタイム
 - ・コーディネーター、講師からのコメントがあった。



みどりーむでは3台のカメラを用いて Zoom 配信。修了生へも6期生の「夢プラン」が共有され、チャットで意見、感想がよせられた。

6期生の「学びのふりかえり」より（抜粋）



- みんなの前の夢プラン発表からより具体的なプランになり実現に向けてのアドバイスがとても参考になりました。多くの方のアドバイスも含め自分だけでは気づけないこと、これからの課題がわかり活かしたいと思いました。
- 自分の考えていることとよく似た意見を持っている方が他にもいらっしゃるのだと思いました。
- 居場所作りをテーマに考えている人とつながれるといいなと思いました。
- 夢プランシートが他者にやりたいことを伝えるための重要なものであることが作っているうちにわかってきました。
- コーディネーター、ナビさん、サブナビの方に大きな夢から実際に絞り込んだひとつ、ひとつの課題をクリアしていくことで実現に近づくというアドバイスをいただいて腑に落ちたというか納得しました。
- 私のプランに的確な助言をありがとうございました。以前より具体的にプランが考えられました。
- 講師やサブナビさんの温かい励まし並びにアドバイスをありがとうございました。大いに参考にさせていただきました。
- いよいよ最終回も近くになり具体的なプラン作りを一堂に見られてよかったです。
- 大勢の方々の協力によってこの「ひと・まち」スクールが成り立っているのだと感じました。



コメント欄（担当ナビゲーター：神田）

- 第4講欠席者の発表で、第5講も欠席した受講生の代理発表は欠席者へのフォローとして大変よかったです。11月1日に欠席者の補講を行い、夢プラン提出に繋がりました。
- ズームのチャット機能を活用した意見交換やアドバイスを実践できたことはオンライン講座の可能性を感じました。
- 最初は夢プラン作成に戸惑いも見られましたが、受講生間や講師・ナビゲーターとの意見交換やアドバイスで、具体的なイメージを思い描けるようになってきたと思います。第6講の発表が楽しみです。
- 6期生は居場所づくりの夢プランが多く、既存の施設への見学などは皆さんで連絡を取り合い、一緒に見学し、感想を話合ったり、情報交換しながら活動を進めていけばいいと思いました。
- ひと・まちスクールは夢プランを作成することだけが目的ではなく、夢プランを育て、夢プランを実現することが目的です。
緑区の支援制度を活用して、夢の実現を図ってほしいです。
- 夢プランを実現するためには長い時間がかかります。夢を諦めずに今できることから活動を始め、活動を継続して行く必要があります。アフターフォローの充実を望みます。また、講座修了後もみどりーむを活用し、みどりーむに関わって活動していただきたいと思います。